



2018年度  
京都

# 能楽大連吟

KYOTO NOHGAKU DAIRENGIN 2018

## 観世流 お稽古帳

### 謡十五徳

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 一、不行而知名所<br>行かずして名所を知る  | 一、不老而知古事<br>老いせずして古事を知る |
| 一、在旅而得知音<br>旅に在りて知音を得る  | 一、不恋而懐美人<br>恋せずして美人を懐う  |
| 一、不習而織歌道<br>習わずして歌道を織る  | 一、不馴而近武芸<br>馴れずして武芸に近づく |
| 一、不詠而望花月<br>詠まずして花月を望む  | 一、不軍而識戦場<br>軍せずして戦場を知る  |
| 一、無友而慰閑居<br>友なくして閑居を慰む  | 一、不祈而得神徳<br>祈らずして神徳を得る  |
| 一、無薬而散鬱気<br>薬無くして鬱気を散ず  | 一、不触而知仏道<br>触れずして仏道を知る  |
| 一、不思而昇座上<br>思わずして座上に昇る  | 一、不巖而嗜形美<br>巖ならずして形美を嗜む |
| 一、不望而交高位<br>望まずして高位と交わる |                         |

このお稽古帳は大切に保管してください。



# MEMO



# 能楽

KYOTO NOHGAKU DAIRENGIN 2018

# 大連吟



## 大連吟って何？

能楽大連吟(のうがくだいれんぎん)は「謡」を通して古き良き日本文化を知ると共に、世代を超えた多くの人との「合唱」によってコミュニケーションの輪を広げようという新たな試みです。

謡独自の発声法を身につけることで、伸びやかな声になり、まっすぐな美しい姿勢も身につきます。

2008年から始まった能楽大連吟、今年で11回目を迎え、昨年同様金剛流も加わり能「高砂」を上演します。

「今年は300人。いつかは1,000人。目指すは10,000人!!」毎年、恒例行事になる事を目指して、京都から発信しています。

2018年の終わりに、世界中の平和と幸福を祈って、共に「高砂」を謡いましょう!





# たかさご 高砂とは?



相生の松から夫婦愛と長寿、国土安穩を祝う能の作品です。古くから新年の宴席や結婚式などで謡われてきました。

能は一番目物から五番目物までジャンル分けされており、高砂は脇能(一番目物)として扱われ、その一節は能公演一日の締めくくりとしてもよく謡われています。

しかいなみ まちうたい  
大連吟では、四海波、待謡、ロンギ、後場の地謡を皆様に謡っていただきます。

一昔は男であれば当たり前、女性においても武家の子女ならば当たり前  
この大連吟を機に高らかに謡ってしまおう高砂を!

## 能のあらすじ



～阿蘇の宮の神主さんが、都見物したいと思うて都に向かっている最中、高砂(播磨-兵庫)に立ち寄ったそう。そこは綺麗な浦と松が美しく、鐘の音まで聞こえるいい情景だったそうじゃ。～

そこにどこからともなく老夫婦が現れて、木陰を掃きはじめました。神主は「高砂の松はどこじゃ?」と問うと、「高砂の松と住吉の松とは相生の松での。離れていても夫婦なんじゃよ。」と枯れぬ松の永遠さや夫婦の仲睦まじさを述べたそうです。(四海波)

その後、老夫婦は自分達は高砂・住吉の松の精である事を打ち明け、「住吉でまっているぞよ」と告げ小舟に乗って消えたそう。-中入-

神主は早速、住吉に向けて舟を出します。(待謡)

住吉へ着いた神主は美しい月光の下、住吉明神に遭遇しました。

影響された住吉明神は天下泰平、国土安穩を祝って颯爽と舞を舞います。(千秋楽)

# 四海波 (上歌) ツヨク 拍合

	1	2	3	4	5	6	7	8
上	四海波静かにて。							
上	<small>クルイワマワシ</small> <small>↻ ↗</small> えにイもオ — おさまる — とぎつかぜ。							
上	えだを — ならさぬ — みよなれや — <small>ヒキ →</small>							
上	— — — — 。 あいに — あいおいの。 <small>オサエ ↗</small>							
上	<small>マワシ</small> <small>↗</small> <small>中マワシ</small> まつさそめでエた — かりけれエエ — <small>↘</small>							
上	<small>ヒキ →</small> — — — — 。 げにや — あおぎても。 <small>サゲ ↗</small>							
上	<small>サゲ ↗</small> <small>サゲ ↗</small> こども — おろかや — かけるよに。							
上	<small>サゲヒキ</small> <small>↗</small> <small>オサエ</small> すめる — たみとて — ゆたかなる。							
上	<small>マワシ</small> <small>↗</small> きみの — めぐみぞ — ありがたアき							
上	<small>フリ</small> <small>オサエ</small> <small>マワシ</small> <small>中 ↗</small> <small>オサエ</small> <small>マワシ</small> <small>スエル</small> きみイのめ <small>↓</small> め <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>ヒキ →</small> <small>ヒキ →</small> め <small>↓</small> み <small>↘</small> い <small>↘</small> り <small>↘</small> が <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> <small>↘</small> ア た — き —							



# 後シテ～舞まで ツヨク 拍不合

シテ 我見ても久しくなりぬ住吉のー。

岸の姫松幾代経ぬらーんー。

睦まじと君は知らずや瑞垣のー。

久しき世々の神かぐらー。

夜の鼓の拍子を揃えてー。

すずしめ給えー。宮つ子たちー

にしのーオ●うーうーうみー。  
あーおーオきがーア●はらーアのーオーオー  
なみまーアよーオオーオ●オーイーイー

シテ 現れ出でしー。神松の。

春なれやー。残ん乃雪の浅香瀉ー

たーまーアーアもかるなる●きしかーンげのー

シテ 松根によって腰を摩ればー

イリ  
 セー—んねんのみどり—イ—  
 フリヒキ  
 マワシ マワシ マワシ ヒキ  
 てにみ—イ—て—エ—エ—エ●—エ—り—イ—イ—イ—

シテ 梅花を折って頭に挿せば—

サゲ ヨブシ イリ マワシ ヒキ スエル  
 じげしのゆき●ころもにお—オ●オ—つ—う—う—



# MEMO



# ロシギ

ツヨク  
拍合

1 2 3 4 5 6 7 8

— ありがとうのよ おごおや <sup>ヒキ</sup>→

— 。あ— りがたの— よおごおや。

— つきす— みよしの— かみあそび。

— みか <sup>サゲ</sup>げ— をおが <sup>オサエ</sup>む— あら <sup>シメ</sup>た <sup>↓</sup>きよ。

シテ げにさ— まぎまの— まいびめの。

シテ さえも— すむ <sup>ヒキ</sup>なり— すみのえの— <sup>→</sup>

シテ — 。まつ— <sup>クル</sup>か <sup>イリ</sup>げも— うつ <sup>サゲ</sup>る <sup>オサエ</sup>なる。

シテ せいが— いは <sup>サゲ</sup>どは— これ <sup>↓</sup>やらん。

— かみと— きみとの— みち <sup>シメ</sup>す <sup>↓</sup>ぎに。

— みや <sup>シメ</sup>ら— のは <sup>↓</sup>るに— ゆ <sup>シメ</sup>え <sup>↓</sup>べ <sup>シメ</sup>え <sup>↓</sup>は。

シテ それ <sup>シメ</sup>ぞ— げん <sup>↓</sup>じよ <sup>シメ</sup>お— ら <sup>↓</sup>え <sup>シメ</sup>の <sup>↓</sup>まい。

— さ <sup>シメ</sup>て <sup>↓</sup>ば— ん <sup>シメ</sup>ぜ <sup>↓</sup>いの

シテ — お <sup>ヒキ</sup>み <sup>→</sup>ご <sup>ヒキ</sup>ろ <sup>→</sup>も—



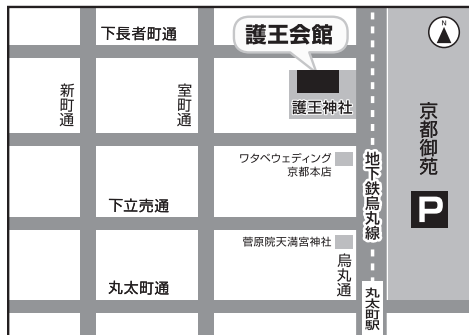


# 各お稽古場までのアクセス

- お申し込みされた流儀にご参加ください。 ●お稽古は開始時間になり次第、始めます。
- 申込み不要ですが、会場に人が多い場合は、ゆずりあってご参加ください。

## 観世流

### 〈京都〉



#### ◆護王会館(護王神社内)

京都市上京区烏丸通下長者町下ル桜鶴円町385

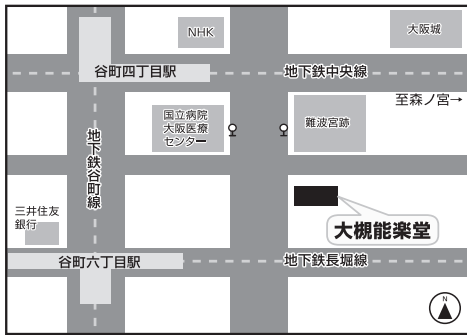
(京都御所給御門前)

【交通アクセス】

市営地下鉄烏丸線「丸太町駅」より北へ徒歩7分

市バス51系統にて「烏丸下長者町」下車すぐ

### 〈大阪〉



#### ◆大槻能楽堂(大阪)

大阪市中央区上町A番7号

【交通アクセス】

地下鉄谷町線「谷町四丁目」下車10番出口より南へ約300m

地下鉄谷町線「谷町六丁目」下車、7番出口より約350m

市バス「国立病院」下車南へすぐ、

※大阪駅前から62系統「住吉車庫前」行乗車

※「あべの橋」(天王寺)から62系統「大阪駅前」行乗車

## 金剛流



#### ◆京都府立文化芸術会館 三階和室B

京都市上京区寺町通広小路下ル東桜町1番地

【交通アクセス】

京阪「神宮丸太町駅」、または「出町柳駅」より徒歩12分

市バス3系統・4系統・17系統・37系統・59系統・

205系統にて「府立医大病院前」下車すぐ





# お稽古スケジュール

お稽古は、予約不要。参加回数は自由です。参加希望日に直接会場にお越しください。

## 初回オリエンテーション

流派に関係なくご参加ください。オリエンテーションにて稽古方法や本番の様子などもお伝えします。

### 京都会場

会場 河村能舞台

日時 2018年8月4日(土) 14:00~

### 大阪会場

会場 大槻能楽堂

日時 2018年8月7日(火) 19:00~

## 本番

### 観世流

会場 京都駅ビル室町小路広場  
(大階段)

日時 2018年12月1日(土)  
13:00~/15:00~

### 金剛流

会場 金剛能楽堂

日時 2018年12月8日(土) 15:00~

## お稽古

### 観世流

### 京都

会場 護王会館(護王神社内)

日時 8月11日(土)、27日(月)  
9月18日(火)、25日(火)  
10月16日(火)、23日(火)  
11月 6日(火)、13日(火)  
14:00~/15:00~  
18:00~/19:00~  
11月23日(金)リハーサル  
(場所は10月初旬確定予定)

### 金剛流

会場 京都府立文化芸術会館  
三階和室B

日時 8月7日(火)、21日(火)  
9月4日(火)、18日(火)  
10月2日(火)、16日(火)  
11月6日(火)、20日(火)  
13:30~/18:00~

### 大阪

会場 大槻能楽堂

日時 8月21日(火)、9月 4日(火)  
10月30日(火)、11月20日(火)  
18:00~/19:00~

※稽古時間はおおよそ60分です。

(終了後30分補修時間があります。)

※開始時間の10分程前にお集まりください。

(会場は20分前です。)

※稽古時間は各40分です。

※開始時間の10分程前にお集まりください。

能楽大連吟で購入できる販売物、開催する催しのご案内をいたします。



## 大連吟 販売物のご案内

### 本家福井十松屋

能楽大連吟では扇だけはおお客様にご用意していただく必要があります。お持ちでない方は、ご自身でお求めいただくか、本家福井十松屋より購入することが出来ます。扇についてわからないことがありましたら、講師までお尋ねください。

- 大連吟オリジナル扇 6,000円(税込)
- 扇 袋 2,800円(税込) / 4,500円(税込)

※扇の名入はございません。



## 大連吟鑑賞チケット、DVD、当日着付けのご案内

### 大連吟 鑑賞チケット 〈金剛流のみ〉

能楽大連吟当日の鑑賞チケットです。  
10月の稽古より販売開始となります。  
※観世流はチケットはございません。

- 本番当日の鑑賞チケット 1,000円(税込)

### 記念DVD

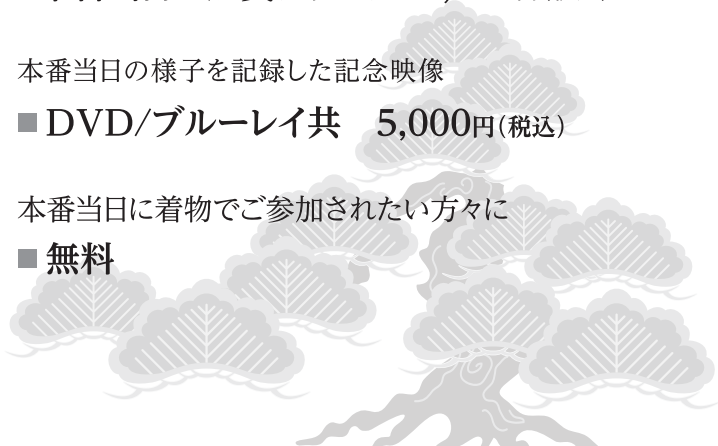
本番当日の様子を記録した記念映像

- DVD/ブルーレイ共 5,000円(税込)

### 当日着付け

本番当日に着物でご参加されたい方々に

- 無料





## 遊連吟のご案内

### 遊連吟

遊連吟とは毎年不定期で開催している遊ぶ連吟です!  
能楽大連吟参加者との親睦を深めたり、能楽に親しんで  
みたりと、さまざまな企画を用意しております。  
内容は9月中旬頃ご案内します。



## その他のご案内

### 大連吟打ち上げ

能楽大連吟当日後の打ち上げです!参加した方々と感想  
などを語り合ってみましょう。場所が確定しだいご案内  
いたします。

■ 打ち上げ参加費 6,000~8,000円(税込)程

### 高砂神社 バスツアー (遊連吟)

毎年恒例の高砂神社へ謡を奉納するバスツアーです。  
奉納の後は名所、観光スポットをめぐる予定です。

■ 2019年1月6日(日)  
参加費 10,000円(税込)程  
※内容によって変更になります

### 小連吟稽古

申込は  
各講師連絡先へ

各講師が行っている個人の稽古活動です。もっと本格的に  
謡の稽古がしたい方へおすすめ。  
稽古場や稽古日時など詳細は各講師へお問合せください。  
それ以外のお問い合わせはお控えください。

■ 深野 貴彦  
Tel/Fax 075-384-0100  
携 帯 090-3278-3694

■ 松野 浩行  
Tel/Fax 075-821-1904  
携 帯 080-7011-5194

■ 齊藤 信輔  
Tel/Fax 06-7164-9112  
携 帯 090-7484-3439

■ 今村 哲朗  
Tel/Fax 06-6958-4794  
携 帯 090-7384-1551



## 高砂詞章

シテ 光り和らぐ西の海の ワキ 彼処は住吉  
シテ 此処は高砂 ワキ 松も色添い シテ 春も ワキ 長閑に

四海波静かにて、國も治まる時つ風。枝を鳴らさぬ御代なれや。あいに相生の、  
松こそ目出たかりけれ。げにや仰ぎても、事も疎かやかかる世に。  
住める民とて豊かなる。君の恵みぞ有難き。君の恵みぞありがたき。

高砂やこの浦舟に帆をあげて。この浦舟に帆をあげて。月もろともに出汐の。  
波の淡路の島影や。遠く鳴尾の沖過ぎて、早や住の江に着きにけり。早や住の江に着きにけり。

後シテ登場

我見ても久しくなりぬ住吉の。岸の姫松幾代経ぬらん。睦ましと君は知らずや瑞垣の。  
久しき世々の神かぐら。夜の鼓の拍子を揃えて。すゝしめ給え。宮つ子たち。

西の海。櫂が原の波間より。現れ出でし。神松の。春なれや。残んの雪の浅香湯。  
玉藻刈るなる岸陰の。松根によって腰を摩れば。千年の翠。手に満てり。  
梅花を折って、頭に挿せば。二月の雪、衣に落つ。

神舞→約10分

有難の影向や。有難の影向や。月住吉の神遊。御影を拝むあらたさよ。  
げにさまざまの舞姫の。声も澄むなり住の江の。松影も映るなる、青海波とはこれやらん。  
神と君との道すぐに。都の春に行くべくは。それぞ還城楽の舞。さて萬歳の。小忌衣。  
指す腕には。悪魔を拂い。おさむる手には。壽福を抱き。千秋楽は民を撫で。  
萬歳楽には命を延ぶ。相生の松風。颯々の声ぞ楽しむ、颯々の声ぞ楽しむ。



## INFORMATION

華やかなスタイリッシュ派

# 観世流 能楽大連吟

公演日時 \_\_\_\_\_  
2018年12月1日(土) 13:00~  
15:00~  
公演会場 \_\_\_\_\_  
京都駅ビル室町小路広場(大階段)

素朴で渋いトラディショナル派

# 金剛流 能楽大連吟

公演日時 \_\_\_\_\_  
2018年12月8日(土) 15:00~  
公演会場 \_\_\_\_\_  
金剛能楽堂

No.

氏名

詳細・お問い合わせは下記ホームページをご覧ください。

NOHGAJU DAIRENGIN 2018



譜でつなげる、にっぽんのこころ

能楽大連吟ホームページ

能楽大連吟

検索

<http://daiengin.com>

能楽大連吟実行委員会事務局 E-mail: mail@daiengin.com



主催:能楽大連吟実行委員会 後援:京都市、京都市、京都新聞、KBS京都 協力:本家福井十松屋、繪書店  
企画構成:能楽大連吟実行委員会 制作:萩原麗子 デザイン:有限会社ウィット